

第1回 国民民主党 「やまなし政治塾」 始動

政治を変える、その一步を山梨から。



国民民主党山梨県連主催で、第1回「やまなし政治塾」を開催しました。

人口減少、地域交通、教育、医療・介護、防災、地域経済。これからの山梨には、地域の声を聞くだけでなく、将来を見据えて課題を見つけ、解決策を考え、行動できる政治人材が必要です。

第1回では、私自身の経験も踏まえながら、日本と山梨が置かれている現状、これから地方政治に求められる視点、政治を志すうえで大切にほしい考え方についてお話しし、参加者の皆さんと率直な意見交換を行いました。



質疑・意見交換も活発に！



市町村合併、教育、政策立案、政治を志す際の現実的な課題など、多くの質問が寄せられ、白熱した議論となりました。



着眼大局、着手小局

大きな視点で時代を見る。

そして、身近な地域から一つずつ取り組む。

人口減少、日本経済、国と地方の財政、エネルギー、安全保障など、日本や世界で起きている変化は、やがて地域の暮らしにも直結します。

「10年後、この地域をどうするのか」を考え、目の前の課題から具体的に取り組む。これからの地方政治には、こうした視点が一層求められます。



人口が減る。それだけではない。



山梨県の人口は77万人台まで減少し、生産年齢人口も約44万5千人。今後10年間でさらに約5万5千人の減少が見込まれています。



これまで「当たり前」だった仕組みを、そのまま維持することが難しくなります。壊れてから直すのではなく、時間が必要です。だからこそ、壊れる前に点検・補修する「予防保全」を進める。限られた人員と財源の中で、何を優先し、何を次の世代に残していくのか。政治には、将来を見通した判断が求められています。

山梨の「危機」を「可能性」に変える



自動運転

技術がさらに進めば、高齢者をはじめとする地域交通の課題を解決する大きな力に。



産業の力

AI、DX、ロボット化で、地域の課題解決と生産性向上を目指す。



リニア中央新幹線

開業するのを待つのではなく、「開業する前から、山梨のまちづくりにどう生かすのか」を考えていく。

「何を造るか」ではなく、「何を解決するか」



今ある地域の課題を、自分たちがどう解決するのか。地域を学び、現場の声を話を聴き、自分の経験や問題意識と結び付けながら、解決策を考える。国民民主党が掲げる「対決より解決」を、地方政治でも実現していきます。

第1回は、あくまで「キックオフ」

「やまなし政治塾」は全4回。

今後は回を重ねながら、地方政治や政策づくりについて、より深く学び、考えていきます。

地域の一步が、山梨と日本の未来をつくる。

その思いを共有できる仲間を、

これから一人でも多く増やしていきます。





山梨での活動

子どもたちに、夏休みの楽しい思い出を

『KIZUNA未来プロジェクト』こども食堂 オープニングセレモニーへ

500食分の
流しそうめん！



先日、甲府市で開催された「KIZUNA未来プロジェクト」こども食堂のオープニングセレモニーに伺いました。

今回のこども食堂は、県内を拠点に地域貢献活動が続ける

「KIZUNA未来プロジェクト」の主催によるもので、夏の開催は今回が初めてです。地元の大里地区、大国地区の子どもたちや保護者の皆さんを中心に、ひとり親家庭など支援を必要とする子どもたちにも、安心して食事を楽しみながら、地域の皆さんと交流し、夏休みの思い出をつくってもらいたい——その思いが込められた取り組みです。

会場には、500食分の流しそうめんをはじめ、いなり寿司や唐揚げなどが並び、射的やヨーヨー釣りのブースも設けられていました。子どもたちの楽しそうな笑顔が会場いっぱいに広がり、地域の温かなつながりを感じるひとときとなりました。

こども食堂は、単に食事を提供する場にとどまりません。子どもたちが安心して過ごし、地域の大人たちとふれあい、人と人とのつながりを育てていく、大切な地域の居場所でもあります。こうした取り組みを地域の皆さんが力を合わせて支えておられることに、心から敬意を表したいと思います。

未来を担う子どもたちの笑顔のために、このような活動がこれからも地域に根付き、さらに広がっていくことを期待しています。私も、子どもたちが安心して育ち、地域の中で温かく見守られる環境づくりに、引き続き取り組んでまいります。

国会こぼれ話

選挙の当選回数が多いほど、席が後ろになる！？

国会の本会議場では、議員一人ひとりの座る席が決まっています。参議院では、同じ会派の中で一般的に、当選回数の少ない議員ほど前、当選回数を重ねた議員ほど後ろに座ります。

ここで面白いのは、年齢ではないということです。

たとえば、極端に言えば100歳でも初当選なら前の方。

反対に、40代でも当選回数を重ねていけば後ろの方になります。

つまり、本会議場の席を見ると、その議員の年齢ではなく、どれくらい当選回数を重ねてきたかが少し見えてくるというわけです。

新人議員は前へ。

当選を重ねたベテラン議員は後ろへ——。

本会議の中継を見る機会があれば、

「前の方には初当選や当選回数の少ない議員が多いのかな？」

と、座席にも注目してみてください。

前

(当選回数が
少ない)

後ろ

(当選回数が
多い)



PROFILE

参議院議員 後藤 斎 (国民民主党山梨選出)

略歴 1957年山梨県生まれ／東北大学経済学部卒／農林水産省勤務／衆議院議員4期／山梨県知事

【所属委員会等】

- 国土交通委員会 理事
- 政治改革特別委員会
- 行政監視委員会オブザーバー理事

【党役職】

- 選挙制度調査会長
- 農林水産部会副会長
- 政治改革・行政改革推進本部
本部長代理
- 政策調査会 筆頭副会長

【政府役職等】

- 国土審議会 豪雪地帯対策分科会 特別委員
- 国土開発幹線自動車道建設会議委員
- 参議院改革協議会 選挙制度に関する専門委員会委員